

paizaカードゲームは、複数枚の子カードそれぞれが、1枚の親カードとの強弱関係で勝負するゲームです。

どのカードにも2つの番号が書かれています。
1つ目の番号は1から10の整数、2つ目の番号は1から4の整数で表されます。
また、2つの番号の各組み合わせは1枚だけカードの束に含まれています。(同じカードが2枚以上存在しません)

2枚のカードの強弱関係は、次のルールによって決まります。

- ・1つ目の番号が大きいカードのほうが強い
- ・1つ目の番号が同じ場合、2つ目の番号が小さいカードのほうが強い

親カードと子カードの情報が与えられるので、それらの強弱関係を調べるプログラムを作成してください。

🚩 評価ポイント

10回のテストケースで、正答率、実行速度、メモリ消費量をはかり得点が決まります。
より早い回答時間で提出したほうが得点が高くなります。

1. 複数のテストケースで正しい出力がされるか評価（+50点）
2. 解答までの速さ評価（+50点）

📄 入力される値

入力は以下のフォーマットで与えられます。

```
a b
n
A_1 B_1
...
A_n B_n
```

1行目では親カードの情報が与えられます。親カードの1つ目の番号は a、2つ目の番号は b で表されます。
2行目では整数 n が与えられます。
3行目から n 行の入力が続き、各行では、子カード i ($1 \leq i \leq n$)の情報が与えられます。
子カード i の1つ目の番号は A_i、2つ目の番号は B_i で表されます。

それぞれの値は文字列で標準入力から渡されます。[標準入力からの値取得方法はこちらをご確認ください](#) 📖

📄 期待する出力

出力の i 行目では、親カードと子カード i の強弱関係を調べたときに
親カードの方が強いならば "High"、そうでなければ "Low" と出力してください。
各行では、"High" または "Low" 以外の余分な文字、空白を含んではいけません。

最後は改行し、余計な文字、空行を含んではいけません。

☑ 条件

すべてのテストケースで以下の条件を満たします。

- ・ $1 \leq a, A_i \leq 10$
- ・ $1 \leq b, B_i \leq 4$
- ・ $1 \leq n < 40$

※入力データの中で同じカードが現れることはありません。

入力例1

```
5 1
2
7 2
1 4
```

出力例1

```
Low
High
```

入力例2

```
7 3
4
7 1
7 4
5 3
10 1
```

出力例2

```
Low
High
High
Low
```